

# 2016年9月号 FP武蔵野グループ



## 退職に際し考えておくべきこと

FP 武蔵野グループ

森内茂樹 (AFP 証券アナリスト)

メールマガジンの読者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。  
暦は嘘をつきません。9月も半ばになると暑かった夏は過ぎ、足元雨模様の天気が続きましたが、ずいぶんと涼しさを感じる季節となりました。

今月は私自身の経験も踏まえ、退職についてのお話をお届けしようと思います。

私は約40年にわたるサラリーマン生活に区切りをつけ、昨年6月に会社を退職致しました。振り返ってみると、退職に際してはやらなくてはならないことが結構ありました。私の場合、健康保険の切り替え(継続保険へ)はもとより妻の国民年金への切り替え(3号保険者でなくなる)と保険料の支払い、毎月給料から天引きされてきた火災保険、自動車保険その他会社のお付き合いで入っていたゴルフ保険とか所得保障保険とかの整理。

また会社を辞めると給料からの天引きができなくなるので、火災保険と自動車保険は別途振り込みで保険料を支払い、その他不要なものはこの際すべて解約しました。生命保険は60歳で保険料払い済みとなった終身の生命保険とお付き合いで少額入っていたがん保険のみ残しました。その他の医療保険、個人年金保険には入っていません。

それから年金です。会社からの年金(いわゆる3階建ての部分)は60歳になった昨年から支給されていたのですが、厚生年金(比例報酬部分)は8月で61歳になり受給資格ができますので、年金事務所から送られてきた書類に必要事項を記載し、立川の年金事務所に行って手続きをし、無事10月から支給されることになりました。

会社から説明もあると思いますが、退職に近い方、退職された方はやるのが結構ありますので、念のため手続きをリストにしておくことをお勧めします。

さて退職金です。FPの助言でも退職金をどうするかについてはいろいろあるようです。

結論から言うと退職金を運用に回し、運用益で年金を補完するのは難しいと思います。

なぜか？

まず、リスクを抑えるために運用額を少なくすると運用益も少なくとても年金の補完にはなりません。逆に退職金の大部分を運用に回すと、大きなリスクをとることになります。例えば日本株では年初から2月にかけて約2割下がりましたから、2000万円を日本株で運用していたとすると約4百万円の損失となります。また2000万円ですとだいたい毎日数万円から10数万円は損益が上下します。

銀行や証券会社からは“それでは2000万円をリスクの低いバランス型の投資信託で運用されてはいかがでしょうか”というお勧めの声が聞こえてきそうですが、2000万円の手数料（販売手数料3%として60万円、運用報酬年1.5%として毎年30万円）はいかにも高い。

やはり退職金は増やすことより、減らさないことに重点を置いた方がよいと思います。私もわずかばかりの退職金を頂きましたが、一部はある銀行の退職金応援キャンペーン定期で3か月預けた後、その資金で個人向け変動利付国債を買いました。残りはたまたま市内に銀行の支店が開設され開設記念定期キャンペーン（最長5年の定期預金）をやっていたのでそれに預けました。

それでもどうしても、せつかく退職金をもらったので株をやってみたいという方はご家族で相談して、損しても家計に影響を与えない、配当金や株主優待を利用して家族で食事ができる程度に趣味として株式投資を楽しむことをお勧めします。

以上

2016年9月16日 記